

# 長野市民新聞

7月31日(木)

長野市民新聞社

編集制作センター  
〒380-0943 長野市安茂里1029-1  
フリーダイヤル  
0120-06-5511  
TEL 223-5511 FAX 223-5500  
shimim@avis.ne.jp

|                |      |
|----------------|------|
| 長野駅へ           | 長野駅へ |
| R117           | R19  |
| 丸コメ味噌<br>丹波産醤油 | 松本へ  |

南長野支社  
〒388-8303 長野市南郷・牛島南町1285-3  
TEL 299-5383 FAX 299-5377  
minamis@grn.janis.or.jp  
©長野市民新聞社 2014

## 「更級」をブランド化

長野市南部から坂城町までの千曲川左岸を中心に、かつて地名として親しまれていた「更級(さらしな)」の呼称をブランド化して地域への役に立てようと、千曲市の住民有志が活動を始めた。全国的に知名度が高い(と)しな(の名を特産品に用いて発信)していくことや、さらしなに関連した文学・芸術作品の発掘、創出などを進める。11月には活動を周知する「キックオフ集会」を開く。

更級の地名の由来は諸説あるが、一説には、冠着山の麓に棚田が次々と作られたことから新しいを意味する「更(二)」「級(科)」から名付けられたとされる。平安時代中期の回想録「更級日記」や江戸時代の俳人・松尾芭蕉の旅行記「更級紀行」などでも知られる。1879(明治12)年には稲荷山町と周辺の約60村が旧更級郡となったが、度重なる市町村合併で規模が縮小、2005(平成17)年に旧更級郡大岡村が長野市に合併して更級の地名は消滅した。現在は千曲市の小学校名や農協の施設名として残る(左ページ)。

## 特産品名などに使って— 有志「地域づくりに」



旧更級郡を見下ろす「映捨の棚田」。「さらしな」の地名を地域づくりに生かす取り組みが始まった

### 11月には周知の集会

感を抱いた千曲市若宮(52) 若宮出身・菊の出版企画「さらしな」玉泉在住を中心に、堂代表で、通信社に千曲市や篠井塩崎など勤務する大谷善邦さんと旧更級郡域の住民有志

模索している。手始めのキックオフ集会は11月8日に千曲市上山田温泉の「市総合観光会館」で開く。さらしなの地が平安貴族や文化人の憧れの対象となった理由などについての講演を予定している。今後は賛同する団体を募り、交流会や勉強会を重ねて活動を広げていく方針だ。

志ら約10人が5月に検討会議を発足。月1回ペースで集まり、名称を活用して地域の産業振興や住民の一体感を醸成につなげる方法を

### 浴衣姿で風景印集め

5日 善光寺周辺の3郵便局

善光寺周辺を浴衣姿で散策して3カ所の郵便局を訪ね、地域の名所や名物の絵が入った記念の消印「風景印」を集めるイベント「浴衣で善光寺界限(かいわい)風景印さんぽ」が8月5日に開かれる。手紙に親しむ7月23日の「ふみの日」にちなむ日本郵便のスタンプラリー企画と連動し、西之門町の企画編



長野桜枝郵便局の風景印

### 親子で野菜収穫箱膳料理を体験

鬼無里で9月7日

長野市農業公社は9月7日、市内の親子を対象に、鬼無里地区で

暮らし見  
包装文  
食  
株



なぐ、是では地では文化財獅子ヶ原インサラカがきか町でも散。風風た人に抹茶00円。浴衣の着

ピーマンの収穫を。の調理を。を。方。業者の。所て賣